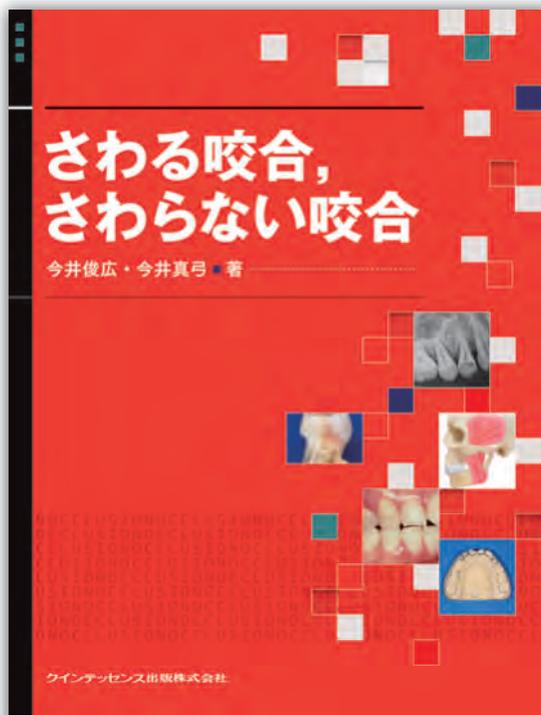


さわる咬合， さわらない咬合

今井俊広・今井真弓 ■ 著

咬合に「さわる」「さわらない」の鑑別に、 自信ありますか？



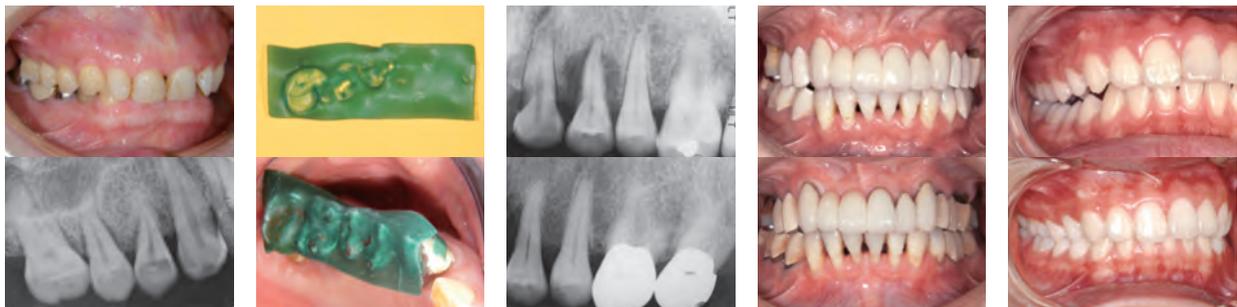
2009年の『臨床咬合補綴治療』では歯冠修復治療をするならば、どのような配慮が必要かを示した。「さわる」(咬合治療・修復治療をする)ならば、である。しかし臨床では「さわらない」(咬合治療まですべきではない)こともある。さわらないで問題が解決するならば、生体への侵襲も少なく、メリットも多い。だが、さわらないことだけがよいとは限らない。では、どんなときに咬合をさわるのか？ さわらないのか？ どの程度さわるべきか？

さわらない咬合？

- ◆生体の許容範囲とは？
- ◆ブラキシズムによる「知覚過敏」「咬合痛」「歯の摩耗」「歯の動揺」への第一選択は？
- ◆咬合をさわるしかないのは？
- ◆歯冠修復治療で咬合をどこまでさわるか？

さわる咬合？

- ◆TMDの治療のために、咬合をさわるか？ さわらないか？
- ◆2mm以上の下顎の偏位がある場合は？
- ◆咬合違和感・咬合感覚異常(症)への対応は？



●サイズ:A4判変型 ●96ページ ●定価:5,880円(本体5,600円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



「咬合をさわるべきか? さわらざるべきか?」の判断は、
診断如何による。

本書を読み進めていただくと、何をいわんや……が
わかっていただけると確信している

CONTENTS

第1章 咬合——顎口腔系への影響

- 1-1 顎口腔系の生理的基本事項
- 1-2 顎口腔系の生理的観点からみたCRの定義と意義
- 1-3 生体の許容範囲とは?

第2章 ブラキシズムと咬合

——知覚過敏、咬合痛、歯の摩耗、歯周組織への影響

- 2-1 非生理的機能によるメカニカルストレス
- 2-2 ブラキシズムの原因
- 2-3 パラファンクション・非生理的機能運動時の歯への影響
- 2-4 ブラキシズムによる歯の摩耗——咬合をさわる? さわらない?
- 2-5 知覚過敏——咬合をさわる? さわらない?
- 2-6 咬合——さわるしかないのは?

第3章 歯冠修復治療と咬合

- 3-1 歯冠修復治療で指標とする咬合とは
- 3-2 治療する下顎位を判断する
- 3-3 歯冠修復治療で咬合をどこまでさわるか?

第4章 顎関節症(TMD)と咬合

- 4-1 顎関節症(TMD)と咬合の関係
- 4-2 TMDの原因
- 4-3 TMDの治療のために、咬合はさわるか? さわらないか?
- 4-4 咬合にさわる意義、さわらない意義
- 4-5 2mm以上の下顎の偏位

第5章 咬合感覚異和感・異常(症)と咬合

- 5-1 咬合異和感・咬合感覚異常(症)
- 5-2 咬合感覚異常(症)の特徴
- 5-3 咬合感覚異常(症)の発症メカニズム
- 5-4 咬合感覚異常(症)の患者への説明

APPENDIX 付録

付録 認知行動療法のためのシールとパンフレットの使い方

きりとり線

注文書

さわる咬合, さわらない咬合

モリタ商品コード:805532

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。